海と日本　調査結果

2017年7月13日

日本財団

調査概要 「海と日本」に関する意識調査2017

目的

気候変動や自然災害、海の酸性化、 海洋生物資源の乱獲など深刻化する海洋問題を背景に、現在の日本人の海への意識や行動の実態を明らかにすること

対象

全都道府県15歳～69歳の男女
※現在の地域に3年以上居住、単身赴任者は除く

回答数

有効回答数　11,600

10代(15～19歳)　2,200サンプル
20代～60代：　9,400サンプル(各都道府県200サンプル)

期間

2017年4月28日～5月19日

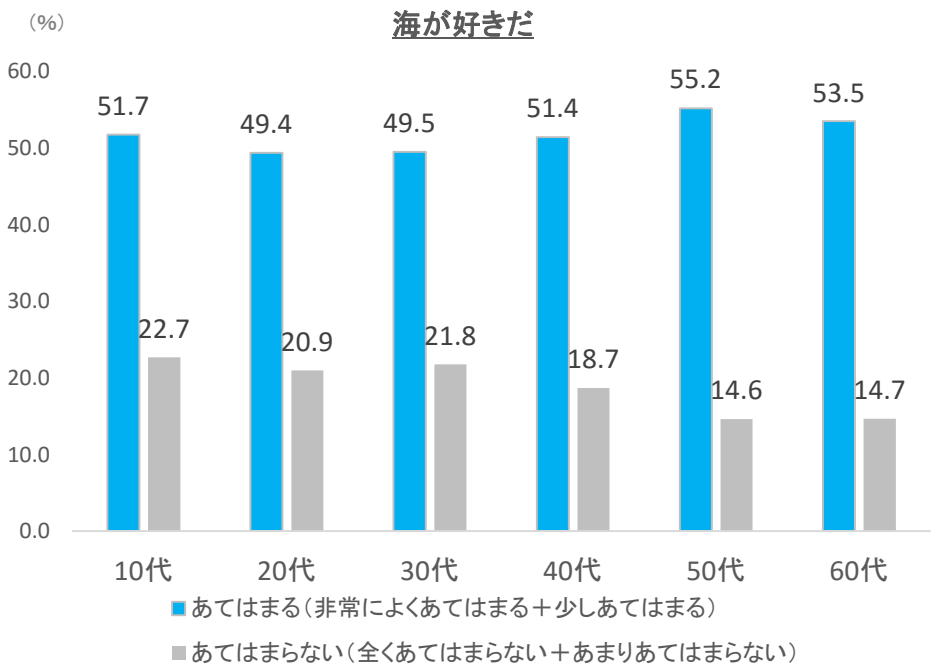
方法

インターネット調査

海との関係性 （絆）「海への好感度」

日本人の５割(2人に1人)が、海が好きだと回答。

しかしながら、10代から30代の約5人に1人が、海のことをネガティブに捉えている。
しかも2人に1人は海が好きだとは言えないと感じている



・「海が好きだ」と回答した人は51.8%
・若年層になるにつれ、緩やかに好きではないが増加傾向

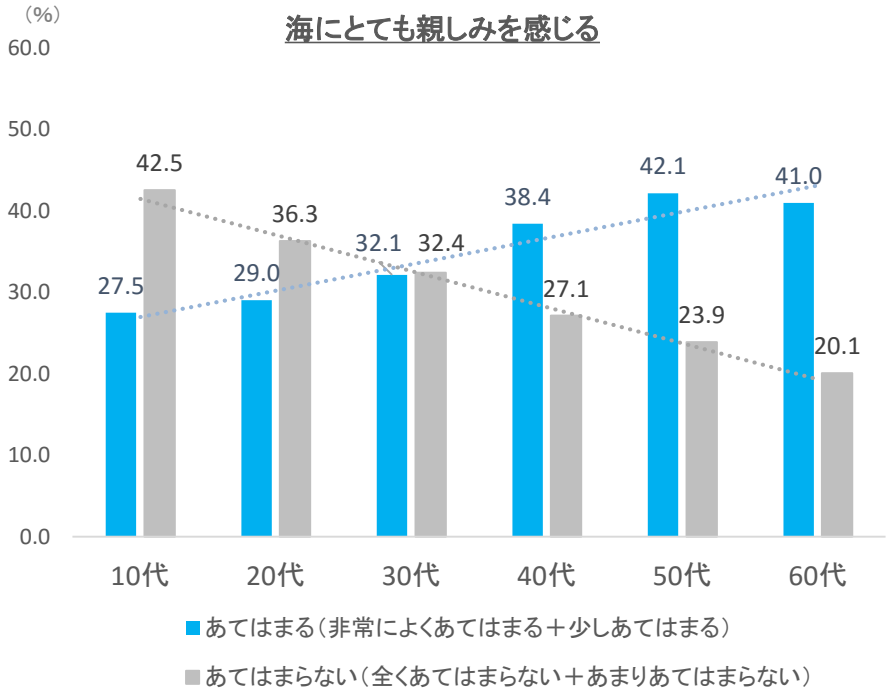
		n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	あてはまる（非常によくあてはまる＋少しあてはまる）	あてはまらない（全くあてはまらない＋あまりあてはまらない）
	全体	11600	7.0	12.0	29.2	36.6	15.2	51.8	19.0
年代	10代	2200	9.0	13.6	25.6	35.6	16.1	51.7	22.7
	20代	1876	8.4	12.6	29.7	35.0	14.3	49.4	20.9
	30代	1884	8.0	13.8	28.8	35.1	14.4	49.5	21.8
	40代	1880	7.1	11.5	29.9	35.8	15.6	51.4	18.7
	50代	1880	4.7	9.9	30.2	37.8	17.3	55.2	14.6
	60代	1880	4.5	10.2	31.9	40.3	13.2	53.5	14.7

海との関係性 （絆）「海への親しみ・愛着①」

10代の４割(2.5人に１人)は、海への親しみを あまり感じていない

・「親しみを感じない」年代が若いほど増加　10代は42.5%

・10代は42.5%、20代は36.3%。若年層ほど親しみを感じていない傾向



・逆に50代、60代の4割の人は「親しみを感じる」

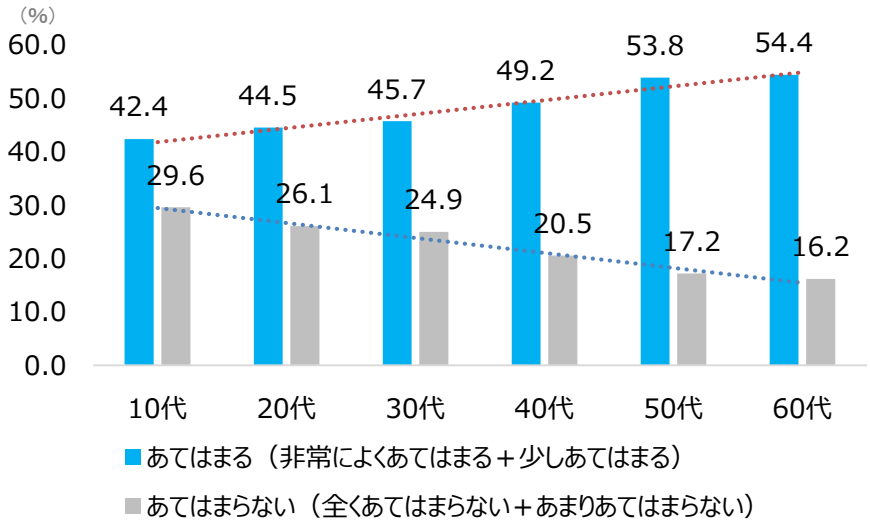
		n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	あてはまる（非常によくあてはまる＋少しあてはまる）	あてはまらない（全くあてはまらない＋あまりあてはまらない）
	全体	11600	11.9	18.8	34.5	24.8	10.0	34.8	30.7
年代	10代	2200	17.3	25.2	30.0	19.8	7.7	27.5	42.5
	20代	1876	14.4	21.9	34.7	20.7	8.3	29.0	36.3
	30代	1884	13.5	18.9	35.5	22.7	9.4	32.1	32.4
	40代	1880	10.7	16.4	34.5	26.6	11.8	38.4	27.1
	50代	1880	8.0	15.9	34.0	29.2	12.9	42.1	23.9
	60代	1880	6.4	13.7	39.0	30.4	10.6	41.0	20.1

海との関係性 (絆)「海への親しみ・愛着②」

10代の約３割(3人に1人)は、海と接していても心地よくない

「心地よいと感じない」年代が若いほど増加　10代は29.6%にのぼり、50,60代の約2倍

海と接していると、心地よく感じる



・「心地よいと感じる」年代が高くなるにつれ増加傾向

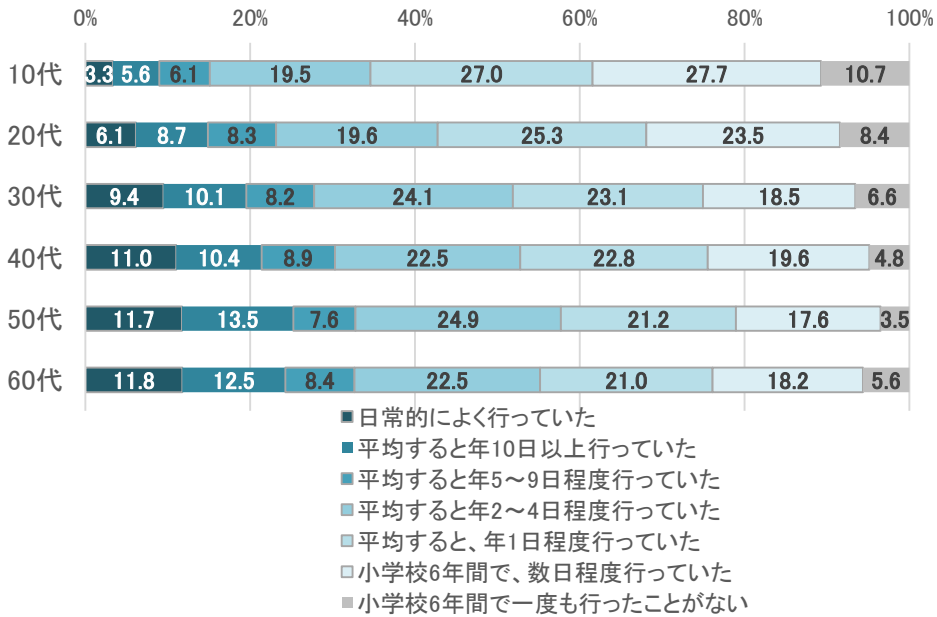
		n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	あてはまる（非常によくあてはまる＋少しあてはまる）	あてはまらない（全くあてはまらない＋あまりあてはまらない）
	全体	11600	9.5	13.1	29.2	34.2	13.9	48.2	22.6
年代	10代	2200	12.6	17.0	28.0	29.5	12.9	42.4	29.6
	20代	1876	11.9	14.2	29.4	33.0	11.5	44.5	26.1
	30代	1884	10.9	14.1	29.4	32.9	12.8	45.7	24.9
	40代	1880	8.8	11.7	30.3	33.1	16.1	49.2	20.5
	50代	1880	6.8	10.4	29.0	37.1	16.8	53.8	17.2
	60代	1880	5.6	10.5	29.5	40.6	13.8	54.4	16.2

子どもの頃（小学生のころ）の海体験 - 回数 -

10・20代は「小学生の頃に海に遊びに行った日数が少ない」

・「子どもの頃（小学生のころ）どのくらいの頻度で海に遊びに行っていたか」の設問では、若い年代になるほど「日常的に」「年に２回以上」行っていた人の割合が減少。10代・20代は約6割が「年1日以下」となった

Q. 子どもの頃（小学生のころ）の、海の体験についてお聞きします。どのくらいの頻度で海に遊びに行っていたかお選びください。
例：2泊3日で行った場合は、3日としてください。



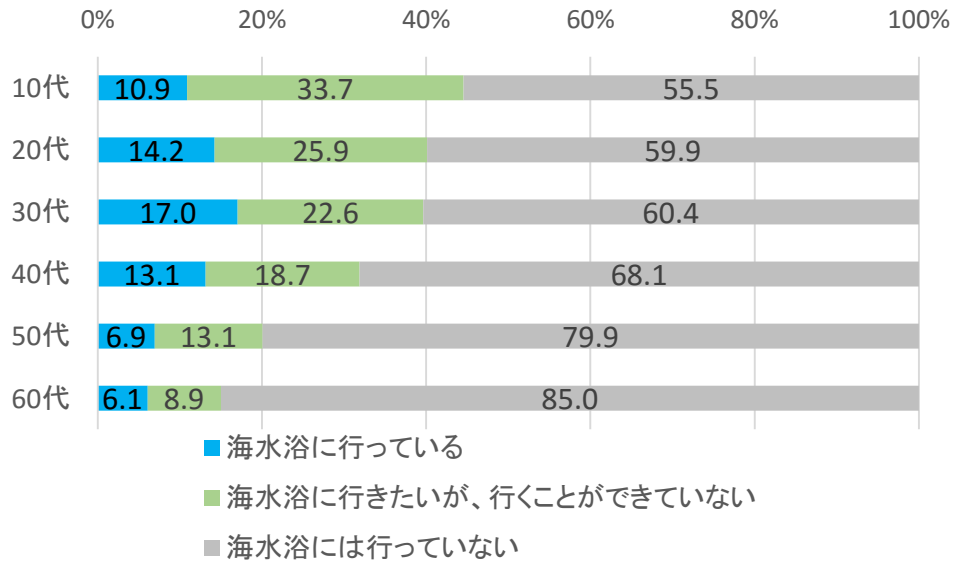
・「日常的によく行っていた」若年層ほど低下

	n	日常的によく行っていた	平均すると年10日以上行っていた	平均すると年5～9日程度行っていた	平均すると年2～4日程度行っていた	平均すると、年1日程度行っていた	小学校6年間で、数日程度行っていた	小学校6年間で一度も行ったことがない
全体	11600	8.7	10.0	7.9	22.1	23.5	21.0	6.7
10代	2200	3.3	5.6	6.1	19.5	27.0	27.7	10.7
20代	1876	6.1	8.7	8.3	19.6	25.3	23.5	8.4
30代	1884	9.4	10.1	8.2	24.1	23.1	18.5	6.6
40代	1880	11.0	10.4	8.9	22.5	22.8	19.6	4.8
50代	1880	11.7	13.5	7.6	24.9	21.2	17.6	3.5
60代	1880	11.8	12.5	8.4	22.5	21.0	18.2	5.6

海との関係性（体験）　現在の「海水浴について」

・現在、「海水浴に行っている」トップは30代（17.0%）10代は1割（10.9%）
・「海水浴に行きたいが、行くことができていない」10代トップ（33.7%）

Q. 現在のあなたと海水浴について、あてはまるものを選んでください。



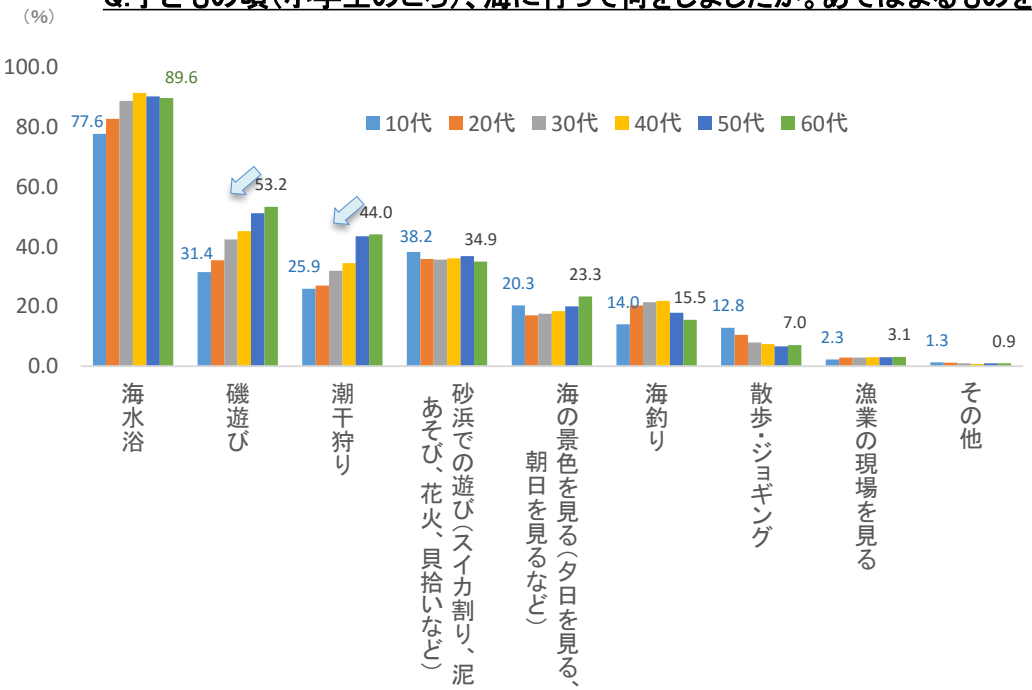
		n	海水浴に行っている	海水浴に行きたいが、行くことができていない	海水浴には行っていない
全体		11600	11.4	20.9	67.8
年代	10代	2200	10.9	33.7	55.5
	20代	1876	14.2	25.9	59.9
	30代	1884	17.0	22.6	60.4
	40代	1880	13.1	18.7	68.1
	50代	1880	6.9	13.1	79.9
	60代	1880	6.1	8.9	85.0

子どもの頃（小学生のころ）の海体験 – 内容 -

若年層になるほど「海水浴」「磯遊び」「潮干狩り」など、海水に触れる身近な体験が減少

・「小学生の頃、海に行って何をしましたか」の設問では、全世代で海水浴がトップとなった
・10代、20代では「磯遊び」「潮干狩り」といった、海に親しむきっかけとなりやすい体験をした人が減少

Q.子どもの頃（小学生のころ）、海に行って何をしましたか。あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）



・「海水浴」も10代、20代の若年層で減少

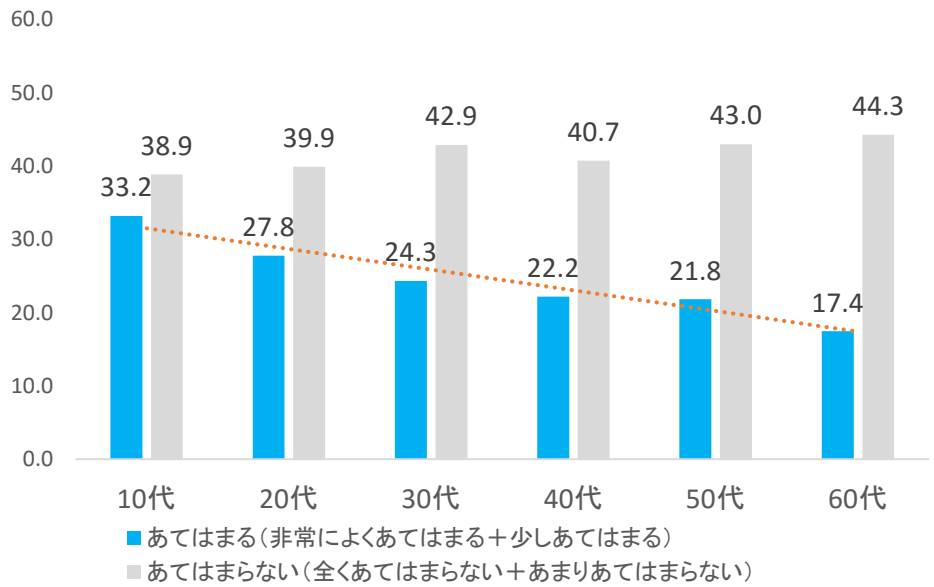
		n	海水浴	磯遊び	潮干狩り	砂浜での遊び（スイカ割り、泥あそび、花火、貝拾いなど）	海の景色を見る（夕日を見る、朝日を見るなど）	海釣り	散歩・ジョギング	漁業の現場を見る	その他
	全体	10819	86.6	43.0	34.3	36.3	19.4	18.4	8.8	2.8	1.0
年代	10代	1964	77.6	31.4	25.9	38.2	20.3	14.0	12.8	2.3	1.3
	20代	1718	82.7	35.4	26.9	35.9	17.0	20.3	10.5	2.9	1.2
	30代	1760	88.6	42.3	31.9	35.6	17.6	21.4	7.9	2.8	1.0
	40代	1789	91.3	45.1	34.4	36.0	18.3	21.8	7.4	3.0	0.8
	50代	1814	90.2	51.1	43.4	36.8	20.0	17.8	6.6	3.0	0.9
	60代	1774	89.6	53.2	44.0	34.9	23.3	15.5	7.0	3.1	0.9

海との関係性（体験）「海に入ることが好きだ」

海に入ることが嫌いな10代は、約4割にも。

「海に入ることが好きだ(海水浴、サーフィン、ダイビングなど）」に「あてはまらない」と回答した10代は38.9%、20代は39.9%。
前世代を通じても約4割（38.9%～44.3%）という結果に。

Q.海に入ることが好きだ(海水浴、サーフィン、ダイビングなど)



・「あてはまる」年代が若いほど高い。10代がトップ(33.2%)

・「あてはまらない」各年代とも4割前後、一定数存在

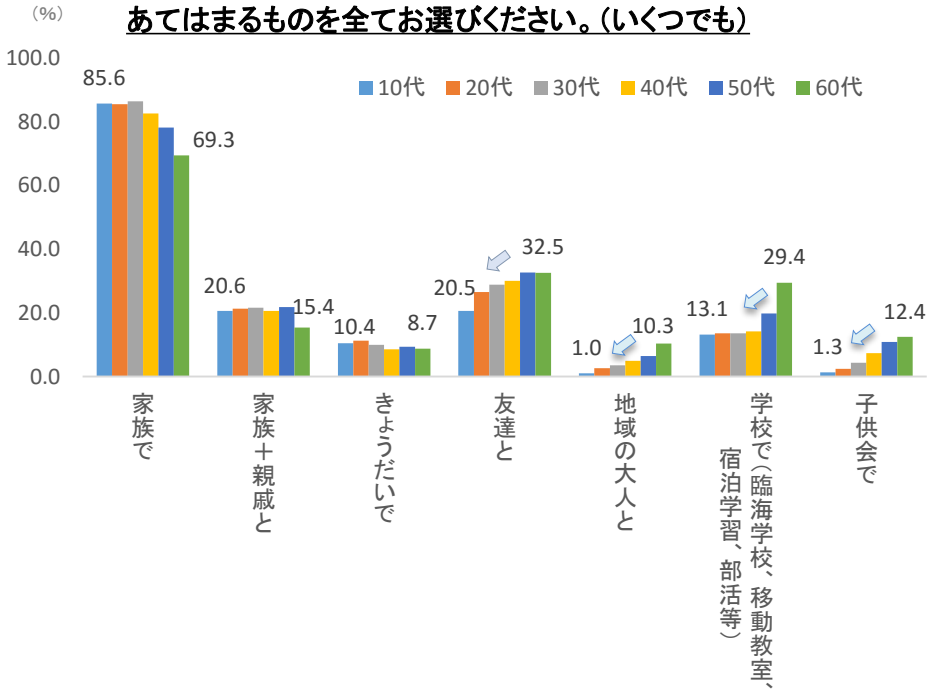
		n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	あてはまる（非常によくあてはまる＋少しあてはまる）	あてはまらない（全くあてはまらない＋あまりあてはまらない）
全体		11600	17.4	24.1	33.8	17.8	6.9	24.7	41.5
年代	10代	2200	16.3	22.5	28.0	22.8	10.4	33.2	38.9
	20代	1876	16.5	23.5	32.3	19.8	7.9	27.8	39.9
	30代	1884	19.8	23.1	32.8	17.2	7.1	24.3	42.9
	40代	1880	18.6	22.2	37.1	16.1	6.1	22.2	40.7
	50代	1880	16.5	26.5	35.2	16.1	5.7	21.8	43.0
	60代	1880	17.2	27.1	38.3	13.7	3.7	17.4	44.3

子どもの頃（小学生のころ）の海体験 - 誰と -

一緒に行ったのは「家族」がトップ
若い世代ほど、「学校」「地域」といった多様なつながりでの海体験が少ない

地域単位や学校といった多様なつながりでの海を訪れた体験は、若い世代で減少。

Q.子どもの頃（小学生のころ）、海に行っていた方は、誰と一緒に海に行きましたか。
あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）



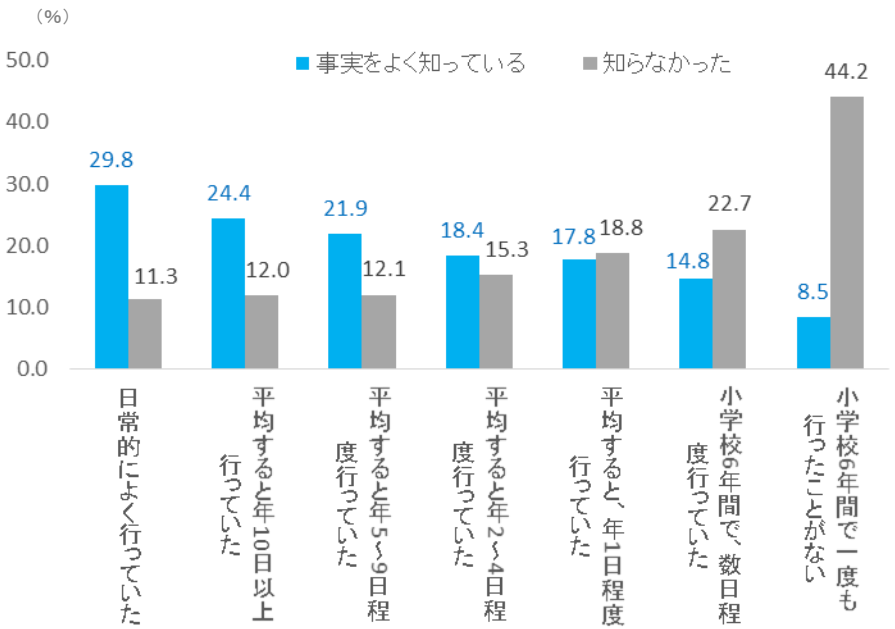
		n	家族で	家族＋親戚と	きょうだいで	友達と	地域の大人と	学校で（臨海学校、移動教室、宿泊学習、部活等）	子供会で
全体		10819	81.3	20.2	9.7	28.4	4.7	17.2	6.4
年代	10代	1964	85.6	20.6	10.4	20.5	1.0	13.1	1.3
	20代	1718	85.4	21.2	11.2	26.5	2.6	13.5	2.4
	30代	1760	86.4	21.5	9.9	28.8	3.5	13.5	4.3
	40代	1789	82.6	20.6	8.6	30.0	4.9	14.1	7.3
	50代	1814	78.1	21.8	9.3	32.6	6.4	19.8	10.9
	60代	1774	69.3	15.4	8.7	32.5	10.3	29.4	12.4

海との関係性　意識　子どもの頃(小学生)の海体験別

「生態系の変化や、乱獲などによって今食べている魚が、食べられなくなること」小学校6年間で一度も海に行ったことがないと、「知らない」突出

小学生の頃の海体験(訪問回数)別にみた、海への意識。小学生の頃に海に年2回以上行った人は、「魚が食べられなくなる」という問題への認識が高く、小学校６年間で一度も海に行ったことがないと、「知らない」が突出した。

Q.生態系の変化や、乱獲などによって今食べている魚が、食べられなくなることについて教えてください。

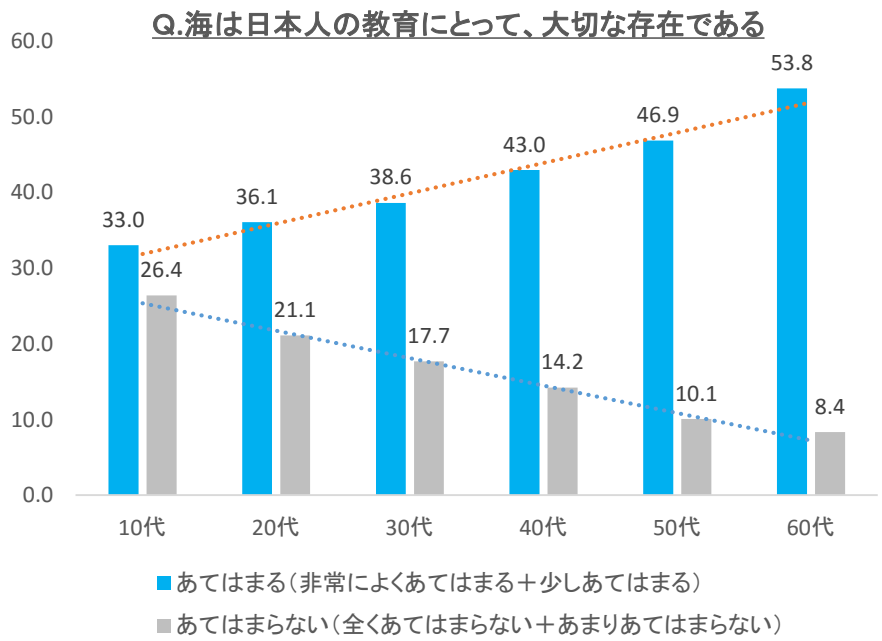


		n	事実をよく知っている	見聞きしたことがある	知らなかった
全体		11600	18.7	62.6	18.7
子どもの頃（小学生のころ）の、海の体験についてお聞きします。どのくらいの頻度で海に遊びに行っていたかお選びください。例：2泊3日で行った場合は、3日としてください。	日常的によく行っていた	1014	29.8	58.9	11.3
	平均すると年10日以上行っていた	1162	24.4	63.6	12.0
	平均すると年5～9日程度行っていた	912	21.9	66.0	12.1
	平均すると年2～4日程度行っていた	2566	18.4	66.3	15.3
	平均すると、年1日程度行っていた	2724	17.8	63.3	18.8
	小学校6年間で、数日程度行っていた	2441	14.8	62.6	22.7
	小学校6年間で一度も行ったことがない	781	8.5	47.4	44.2

海との関係性 役割（意識）「海は日本人の教育にとって、大切な存在である」

10代の4人に1人は「海は日本人の教育にとって大切」と思わない

「海は日本人の教育にとって、大切である」に「あてはまらない」と回答した10代は26.4%、20代は21.1%。
一方、年代が高くなるほど「あてはまる」が増加。



・「あてはまらない」若年層ほど増加

・「あてはまる」年代が高いほど増加

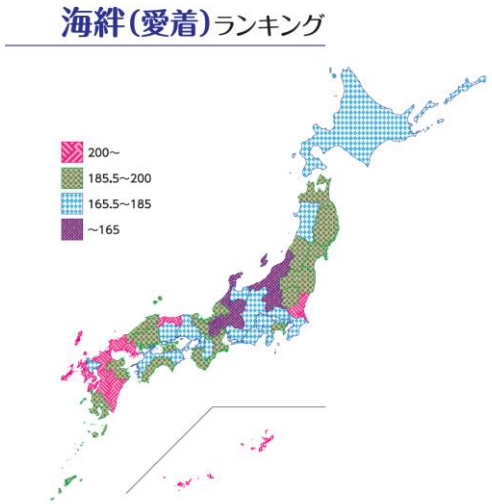
		n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	あてはまる（非常によくあてはまる＋少しあてはまる）	あてはまらない（全くあてはまらない＋あまりあてはまらない）
全体		11600	6.3	10.3	41.8	27.4	14.2	41.7	16.6
年代	10代	2200	10.2	16.2	40.5	23.0	10.0	33.0	26.4
	20代	1876	8.0	13.1	42.8	25.7	10.3	36.1	21.1
	30代	1884	7.1	10.6	43.7	25.9	12.7	38.6	17.7
	40代	1880	5.4	8.8	42.8	26.8	16.2	43.0	14.2
	50代	1880	3.4	6.6	43.1	29.6	17.3	46.9	10.1
	60代	1880	3.2	5.2	37.9	34.3	19.5	53.8	8.4

海との関係性　絆（愛着）　47都道府県別ランキング

＜調査リリースのためのポイント＞

海との関係性 「絆（愛着）」スコアの47都道府県トップは沖縄県

海との関係性を、「絆（愛着）」の５設問でスコア化した結果、47都道府県のトップは、沖縄県となった。
2位：宮崎県、3位：熊本県が続く。



1 沖縄県 282.0
2 宮崎県 225.5
3 熊本県 206.5

4	山口県	204.5
5	茨城県	202.5
6	長崎県	202.0
6	鳥取県	202.0
8	福岡県	200.5
9	福井県	199.5
10	神奈川県	196.5
11	鹿児島県	195.5
12	高知県	194.5
12	香川県	194.5
14	島根県	194.0
15	宮城県	192.5
16	栃木県	192.0
16	和歌山県	192.0
18	福島県	190.5
18	青森県	190.5
20	大分県	188.5
21	広島県	187.5
22	京都府	187.0
22	山形県	187.0
24	岩手県	186.5
25	三重県	185.5
26	兵庫県	185.0
27	奈良県	184.0
28	山梨県	183.5
29	愛媛県	182.5
30	大阪府	181.5
30	北海道	181.5
32	東京都	178.0
33	千葉県	177.5
34	徳島県	175.5
35	秋田県	171.0
36	長野県	170.5
37	愛知県	169.5
38	静岡県	167.0
38	富山県	167.0
40	岡山県	166.5
41	佐賀県	165.5
41	埼玉県	165.5
43	新潟県	165.0
44	滋賀県	160.5
45	群馬県	156.5
46	石川県	147.0
47	岐阜県	134.5

絆(愛着)

トップ３

1位　沖縄県　282.0
2位　宮崎県　225.5
3位　熊本県　206.5

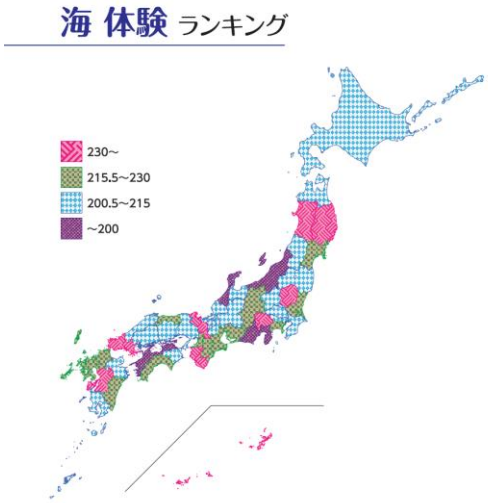
※スコアの算出方法
・「絆（愛着）」５つの質問の５段階評価(非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらともいえない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)
　のトップ２ボックス(非常によくあてはまる＋少しあてはまる)合計パーセントを全て足しあげて算出
・ランキングは20代～60代(各都道府県200サンプル、 合計9,400サンプル)が対象

海との関係性　体験　47都道府県別ランキング

＜調査リリースのためのポイント＞

海との関係性「体験」スコアの47都道府県トップは沖縄県

海との関係性を、「体験」の５設問でスコア化した結果、47都道府県のトップは、沖縄県となった。
2位　栃木県、3位　和歌山県、山梨県が続く。



1	沖縄県	261.0
2	栃木県	244.5
3	和歌山県	233.5
3	山梨県	233.5
5	栃木県	233.0
5	京都府	233.0
7	山口県	232.5
7	秋田県	232.5
9	岩手県	231.0
10	宮城県	227.0
11	福岡県	224.5
12	長野県	224.0
13	長崎県	223.5
14	茨城県	222.5
15	宮崎県	220.5
15	奈良県	220.5
17	大阪府	220.0
18	鳥取県	219.0
19	神奈川県	218.5
20	三重県	218.0
20	佐賀県	218.0
22	愛知県	216.5
23	高知県	215.5
24	滋賀県	215.0
25	群馬県	214.5
26	福島県	214.0
27	青森県	212.5
28	兵庫県	212.0
29	広島県	210.5
30	北海道	210.0
31	千葉県	209.5
32	岡山県	208.5
33	鹿児島県	207.0
33	東京都	207.0
35	島根県	204.5
35	大分県	204.5
37	福井県	204.0
38	山形県	202.0
39	徳島県	201.5
40	富山県	200.5
40	埼玉県	200.5
40	岐阜県	200.5
43	香川県	200.0
44	愛媛県	197.5
45	新潟県	195.5
46	静岡県	191.5
47	石川県	176.0

体験

トップ３

1位	**沖縄県**	**261.0**
2位	栃木県	244.5
3位	和歌山県	233.5
	山梨県	233.5

※スコアの算出方法
・「体験」５つの質問の５段階評価(非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらともいえない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)
　のトップ２ボックス(非常によくあてはまる＋少しあてはまる)合計パーセントを全て足しあげて算出
・ランキングは20代～60代(各都道府県200サンプル、 合計9,400サンプル)が対象

海との関係性　15の質問

絆(愛着)

1　海は私の人生にとって、かかせないものだ
2　海が好きだ
3　海にとても親しみを感じる
4　海と接していると、心地よく感じる
5　海を愛している

体験

1　海に入ることが好きだ(海水浴、サーフィン、ダイビングなど)
2　海のまわり、砂浜で遊ぶのが好きだ(潮干狩り、磯遊び、砂浜遊び)
3　海を見て楽しむのが好きだ(海へのドライブ、浜辺の散歩、海からの朝日、沈む夕日を見る)
4　海の幸を食べることが好きだ(魚、貝、海藻類、だし)
5　海に関するコンテンツ(本、映画、TV番組、水族館、動物園など)を見たり、楽しんだりするのが好きだ

役割(意識)

1　海はすべての生命の源として、大切な存在である
2　海は日本人の生活・文化において、大切な存在である
3　海は日本人の食にとって、大切な存在である
4　海は日本人の教育にとって、大切な存在である
5　海は近隣国とのつながりや国際性を考える上で、大切な存在である

※各質問とも「非常によくあてはまる」「少しあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の５段階から選択

日本財団からの提言

①実地体験型の「海の学び」の場の提供

②地域の特色や地域性を生かしたプログラムの展開

③地域や学校で「海の学び」を実践するための手助けとなるネットワークや素材の提供